

会 議 録	
附属機関又は 会議体の名称	第 4 回 男女平等推進センター運営委員会
事務局(担当課)	男女平等推進センター
開催日時	令和8年1月 21日(水) 午後3時～4 時 30 分
開催場所	男女平等推進センター研修室 2
出席者	委員 岸 知秀 濱口 恵子 松本 憲藏 矢口 節子 鈴木 美千花 長島 千代美 大根田 菜穂子 堀江 咲智子 吉川 倫子 男女平等推進センター所長
	事務局 4 名
会議公開の可否	公開・非公開・一部公開 傍聴人 0 名
非公開・一部公開 の場合はその理由	
会議次第	議題 1 事業報告および今後の予定について 2 エポック 10 フェスタ・プレフェスタ 2026 について 3 今後の運営委員会開催日程について
審議経過 委員長 令和7年度第4回豊島区男女平等推進センター運営委員会を開会する。 事務局 ー前回欠席委員、男女平等推進センター所長挨拶ー 【議題 1】事業報告および今後の予定について 事務局 資料1-3 「R7年度第4回運営委員会 事業報告(相談 G)」の説明 ー委員からの質疑および意見ー 委員 相談件数は例年に比べて増えているのか。 所長 令和 2 年にコロナ禍で相談件数が一気に伸びてからは、大きく件数は変わっていない。 委員 デート DV 予防「わたしとあなたを大切にする教室」の大学での実施は今年からなのか。 所長 以前立教大学で実施していたこともあったが、近年は区立中学校を中心に実施。今年はすずらんスマイルプロジェクトの予算も使いながら、大学にも拡充して実施した。 委員 中学と大学で、内容は同一なのか。 所長 講師の方に学校ごとに内容のカスタマイズをしてもらっている。ある学校では、「同調圧力」をテーマにした内容を希望され、実施してもらった。講師は専門相談(DV)をお願いしている先	

生である。

事務局 資料 1-1「R7年度第4回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G)」の説明

—委員からの質疑および意見—

委員長 男女共同参画推進会議の議題である「(1)ジェンダー平等に関する住民意識調査等について」はどのような調査か。

事務局 まず、ジェンダー平等に関する住民意識調査についてだが、これまで5年ごとに男女共同参画に資する事業を体系的かつ総合的に推進するための基礎資料として、区民の皆様にジェンダー、男女共同参画に対してどういった意識を持っているかを伺う調査になる。この調査では、家庭、教育、社会全体で男女平等になっているか、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思うか、お子さんがいらっしゃると仮定して、男の子、女の子をどのように育てたいか、などを聞いている。それ以外にも、男女平等推進センターを知っているか、豊島区の男女共同参画事業を知っているか、今後どのようなことに力を入れていくとよいか、などを WEB 調査にて実施し、815 名の方に回答してもらった。

委員 豊島区パートナーシップ・ファミリーシップ制度の届出件数は伸びているのか。

事務局 豊島区パートナーシップ制度は平成31年4月から実施、ファミリーシップ制度は令和6年11月に導入され、現在に至っている。実施した当初は、一気に届出件数を伸ばしたが、それ以降は年10組前後で平均化した。今年度は、12 月末時点で10組となっており、堅調に推移している。

委員 豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の認定書交付は、区長が直接渡したのか。

事務局 区役所の区長応接室で認定書を交付した。昨年度より認定期間が2年から3年に変わった関係で、更新企業がないことから今年度は新規企業のための認定となり、7社を認定した。認定書の交付後、区長を交えて意見交換を行った。

委員 どういう意見が出たのか。

事務局 各社出席者がそれぞれの女性活躍・ワーク・ライフ・バランスに関する取組について、ある企業は看護しながらでも働きやすい制度を整えていることや、積極的な管理職登用の制度があることなどを発表してくれた。限られた時間での意見交換だったが、企業の皆様にも満足していただけたと思う。

資料 1-2「R7年度第4回運営委員会 事業報告(事業企画 G)」の説明

—委員からの質疑および意見—

委員 第3回エンパワーメント講座にある「マインドフルネス」とはどういった意味か。

事務局 感覚的な説明となるが、自分を俯瞰して見たときに、自分が今どういう状況に置かれているのかを把握して、ありのままを受け入れていこう、といった考え方のこと。

委員 「出張まちなか保健室」の「出張」とは。

事務局 元々、若草プロジェクトで「まちなか保健室」という居場所をやっていて、それをエポック10に出張して行っていただく、という意味。

委員 すずらんスマイルプロジェクト特別研修「アクティブバイスタンダー」は、広く一般に参加できるというよりは、職員や関連団体に向けての研修だったのか。

事務局 そうである。ロールプレイをして、講師の方の実演を交えながら行った。

所長 すずらんスマイルプロジェクトには、当事者に伝える役割と、支援する側のレベルアップをしていくという目的がある。今回は支援する側のレベルアップという意味で、職員に向け研修した。こういった研修は毎年行っていて、すずらんスマイルプロジェクトに参加していない職員も受講できる。今回は、例えば職場でパワハラがあった場合に、アクティブバイスタンダーの立場でどうしていくかなど、そういった話もあった。

委員 エンパワーメント講座は癒し系の内容を行うものなのか。

所長 エンパワーメント講座は、年によって企画を変えていて、今年は今までやってこなかった、ありのままの自分に気づいてもらう、自分を見つめ直すなど、そういう視点で考えた内容となる。全3回は、各回に申し込んでもらっている。

事務局 ちなみに第3回の講座も昨日から申し込み開始だが、残り数枠になっている。

委員 第2回と、第3回の定員は何名か。

事務局 第2回は16名、第3回は24名である。

【議題2】エポック 10 フェスタ・プレフェスタ 2026 について

—資料 2 についてエポック 10 フェスタ実行委員より報告—

所長	1月の実行委員会の後に、新しく参加する団体も増えてきたこともあり、フェスタ 2027 に向けて今の運用などに対して意見してもらう場を設けた。有志で参加してもらっての実施だったが、改善すべきところはしっかり検討していく。
事務局	—運営委員会としてフェスタとプレ・フェスタで何をするかについて、事務局より説明—
委員	男女平等推進センターの事業紹介展示は毎年同じ内容なのか
事務局	スライドの構成は基本的に同じであるが、内容は最新のものに更新する形としている。
委員	もともと、エポック 10 は多くの事業をやっているため、何をしているかがわからない、ということが課題としてあって、気軽に立ち寄ってもらうことや、利用できる施設であることを知ってもらうために、展示が始まった。年々内容の出し方の改良がされ今に至った。
委員	プレ・フェスタで展示する時のことも考えると、各分野の 1 スライド目のタイトルは文字が大きい方が遠くからでも見やすくなると思う。
委員	プレ・フェスタの各団体展示場所はどう決めているのか、団体が希望を出しているのか。
委員	事務局が決めたところに入っている。
委員長	エポック 10 を知ってもらうため、このまま展示を継続して行っていくべきだと思う。展示を行うで良い方は挙手をお願いする(全員挙手)運営委員会としては展示を行うということで決定する。
委員	昨年のフィンランド大使館の方の講演は今年はやれないのか。
事務局	事務局にて関係委員と調整し、提案内容を運営委員の皆様にご承諾いただければ、実施の方向で講演依頼等させていただく。
	—プレ・フェスタでのイベントを実施する方向で調整することが決定—
委員長	【議題3】今後の運営委員会開催日程について —日程調整— ・4月の日程：4月22日(水) 15時 ・7月の日程：7月22日(水) 15時 に決定
委員長	以上で第4回男女平等推進センター運営委員会を終了する。

提出資料	資料 1-1 令和 7 年度第 4 回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G) 資料 1-2 令和 7 年度第 4 回運営委員会 事業報告(事業企画 G) 資料 1-3 令和 7 年度第 4 回運営委員会 事業報告(相談 G) 資料 2 エポック 10 フェスタ 2026 実行委員会報告書(第 1 回、第 2 回)
------	--